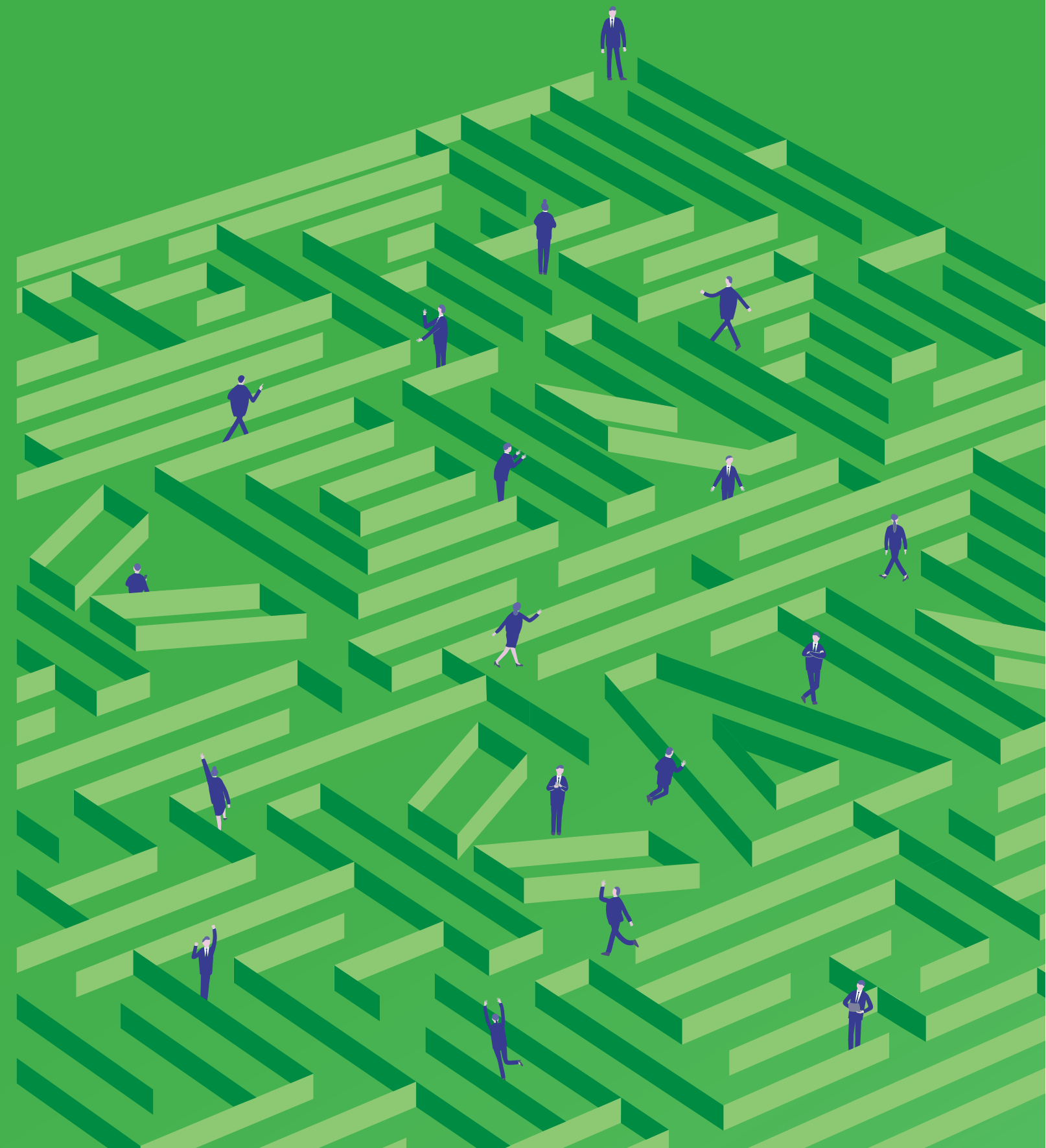


株式会社

建設環境研究所

2026.4 採用案内



建設環境研究所

KenKan Consultants Co.,Ltd.

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-23-2
tel.03-3988-1818 fax.03-3988-2018



Japan.
Committed
to SDGs



当社はSDGsの取り組みを進めています。

“環境”にもっとも必要とされる企業へ

私たちのミッションは、「人と“自然”を未来につなぐ」ことです。

創業以来、当社は環境分野に注力し、河川や道路、都市や公園、防災・減災、地域創生、再生可能エネルギーなど、多岐にわたる領域で、調査から計画・設計、維持管理まで幅広い技術サービスを提供してきました。

近年、気候変動に伴う自然災害の頻発・激甚化やネイチャーポジティブの実現に向けた取り組みが求められています。これに応じ、社会資本のレジリエンスを高めつつ、環境保全と創出の両立が重要な課題となっています。

当社は、これまで培った専門性や豊富な知見、膨大な環境情報データ、さらには先端IT技術を駆使し、持続可能な環境と高度化した社会資本整備の融合に全力で貢献していきます。また、サステナビリティや生物多様性などの新たな分野にも積極的に取り組みます。

私たちは、環境と向き合い、未来を真剣に考える建設コンサルタントとして、持続可能な社会の実現に向けて共に歩んでいく仲間を求めています。あなたも私たちのチームに参加し、一緒に未来を創造しませんか？

皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

企業理念

環境と建設をともに理解する
私たちだからできること
「人と自然を未来につなげます」
「明るく、楽しく、自己実現できる企業」
を目指します

代表取締役社長
川鍋 範廣
Kawanabe Norihiro

1980 創業期 環境の時代

- ・1983年 株式会社 建設環境研究所 設立
- ・建設コンサルタント登録

- ・ダム水質
- ・閘門アセスメント

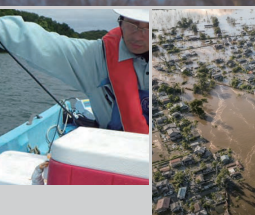
バブル経済

- ・公共事業の拡大
- ・規制緩和と契約制度の変更



ユニバーサルデザイン

- ・かわまちづくり



災害の激甚化・頻発化

国土強靱化



環境と経済の共生



2023

生物多様性の時代

- ・ネイチャーポジティブの取り組み支援



2020

流域治水・カーボンニュートラル

- ・気候変動を踏まえた治水対策
- ・地域づくりと治水・環境



環境部門

Environment department

自然環境に関する技術を駆使して、
大切な自然を守ります。

message

環境部門長
荒木 隆



Messageはこちら▲



環境部

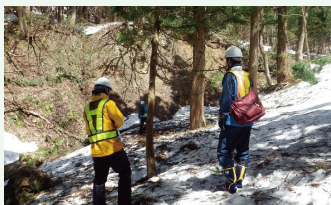
主に関東地方の河川・ダム・道路・砂防事業に係わる自然環境調査、環境アセスメント、保全対策の検討、自然再生計画の立案、環境学習や市民連携の企画運営を行っています。



▲自然観察会でつかまえた魚の名前、特徴などを解説

自然環境部

主に北陸地方の河川、海岸、ダム、砂防、道路事業の自然環境・生態系に係る調査、希少猛禽類調査、環境アセスメント、自然再生、保全対策を行っています。



▲源流から海までを対象に調査を実施

地域環境部

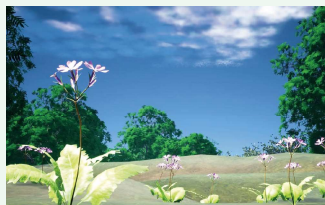
陸上風力、洋上風力、太陽光など、再生可能エネルギー事業の事業適地検討、環境調査、環境アセスメントを行っています。



▲ドローンやGISを活用して風力発電所の立地適地を確認

環境技術部

環境DNA室、環境解析技術室、品質・安全管理室、地域・技術戦略室により、技術の研究と開発、品質と安全の確保、市場戦略の検討を行っています。



▲ゲームエンジンによるイメージ映像の作成



風力発電事業の環境アセスメント調査



ダム周辺の自然調査

河川防災部門

River disaster prevention department

防災から水辺の賑わいづくりまで、
水にかかわる課題を解決します。

message

河川防災部門長
中山 尚



Messageはこちら▲



河川砂防部

異常気象による水害や土砂災害の増加、河川構造物の老朽化等の問題に対し、国民の生命財産を守るため、河川・ダム・砂防の調査、計画、設計を行っています。



▲河川環境に配慮した親水護岸の整備

河川計画部

河道計画、流出解析、氾濫解析などの業務に携わっています。当社の得意分野である環境との調和や土砂管理に配慮した多自然川づくりの計画も行っています。



▲ビオトープ再生に配慮した多自然川づくり

流域計画部

“環境と土木の融合”を目指し、自然再生、エコロジカルネットワーク形成、かわまちづくり、グリーンインフラ活用、流域治水、防災計画など幅広い業務に取り組んでいます。



▲エコロジカルネットワーク形成のイメージ

水環境部

ダムや河川、お濠などの水質悪化の原因を調査分析し、具体的な改善策を検討、実施しています。



▲お濠でのアオコ抑制対策の検討と実施



道路都市部門

Road city department

快適で環境にやさしい
道路・生活環境を造ります。

首里城正殿復元における展示手法検討〈原寸大の首里城正殿グラフィック〉

PICK UP デジタル変革の要

高度情報対策室

Sophistication of Information tactics

情報処理技術を身に付けたい方、いろいろな技術に
チャレンジしたい方、お待ちしております。

情報処理技術によって人と自然を未来につなぎます。

業務や人に依存してデータ形式がバラバラの状態では、有効な分析を行う手前で多大な労力が必要になります。しかしながら、データ様式を統一するためのシステム導入等の仕組みによって、現場の業務のやり方を変えることは、そう簡単ではありません。現場の効率化に役立つ機能を十分に盛り込むことによって、初めてシステム利用が浸透し、長期の利益となるデータ資産が形成されます。

高度情報対策室は、情報処理技術によって、美しいビッグデータが自然に蓄積する仕組みを構築し、経年比較や広域比較が容易になることで、生物多様性や生態系の高精度評価を実現します。データ駆動型の環境コンサルティングによって、企業としての競争優位性と社会貢献を同時に実現します。



▲ ゲームエンジンを活用してVRで表現した洋上風力景観イメージ



▲ 河川環境CIM
動画はこちら



▲ 野外植生の3D
動画はこちら

高度情報対策室の業務内容

当社基盤技術である環境・土木分野について、効率化・エラー回避・高度化を目的にDX（デジタル変革）を推進しています。DXにより、市場における競争優位性、並びに従業員にとっての我社の魅力を、維持・発展させていきます。

PICK UP 調査分析の専門機関

環境科学技術センター

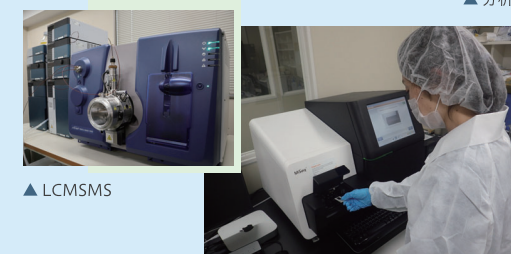
〈環境分析部〉 Environmental science Technical Center

最先端の分析解析技術で環境を
可視化します。

各分野の専門技術者が、水質・底質、大気質、土壌汚染、環境DNA等の調査から分析・解析まで行っています。



▲ 分析室



▲ LCMSMS



▲ 最先端の測定機器による環境DNA分析

message



道路都市部門長
小池 幸夫



▲ Messageはこちら



▲事業・技術紹介
はこちら

道路計画部

道路利用者の安全確保と利便性を高めるインフラ整備のため、リニューアル計画や維持管理計画など、道路に関する調査、計画、設計業務を幅広く行っています。



▲ リラクゼーション効果を与えるパーキング
エリアの整備

環境計画部

都市から自然地までさまざまな空間を対象に、生活環境の利便性や快適性の向上、自然環境の保全と活用など、人と自然をつなぐ業務を行っています。



▲ 被災地のかわづくりを地域のみなさんと
共に考え、完成した河川空間

close-up

生物多様性関連事業

Biodiversity-related projects

生物多様性・ネイチャーポジティブに関する
企業や地域の取り組みを支援しています。

2022年12月に開催されたCBD-COP15で、生物多様性の損失を止めて反転させる行動（ネイチャーポジティブ）が2030年ミッションとして掲げられました。この実現に向けて、企業活動の生物多様性に関する情報を開示するTNFDや、陸と海の30%以上を保護・保全する30by30目標に向けた自然共生サイト認定など、生物多様性の維持・回復・創出に向けた動きが活発化しています。

環境コンサルタントとしての豊富な知見と最新の技術力を活かして、企業や地域の生物多様性・ネイチャーポジティブに関する事業を支援しています。



▲ 自然共生サイト認定のための現地調査



▲ 当社が翻訳したIUCN国際的ガイドライン

支社・支店の業務内容を紹介します

地方拠点紹介

支社・支店

Branch office

本社と地方拠点が連携して
トータルソリューションを実現



中部支社

リニア開通を目指し発展を続ける中部地方の社会資本整備を支援します。

中部地方を対象に、河川・ダム・道路等の社会資本整備と環境保全の両立に向けた環境調査、影響予測、保全対策の検討を行っています。

良好な環境を復元する自然再生や地域一体となって環境を守る生態系ネットワーク、「かわ」と「まち」が融合した河川空間を形成するかわまちづくり等の業務に取り組んでいます。



▲ドローンによる景観写真撮影



▲子供たちを対象とした河川環境学習の補助

東北支社

震災復興を目指す東北地方の社会資本整備を支援します。

東北地方を対象に、自然環境調査、地域活性化検討、河川構造物の維持管理、道路構造物の点検、交通量調査、水質調査等、多岐にわたる分野で河川・道路・ダム事業等の社会資本整備を支援しています。

被災沿岸部では、生態系の調査、環境影響の予測評価、保全検討等の業務で、震災復興の迅速化に貢献しています。



▲河川整備計画の作成・公表



▲山岳地帯での積雪期の猛禽類調査

九州支社

グリーンインフラやかわまちづくりなど地域と連携した社会資本整備を支援します。

九州・沖縄地方を対象に、環境調査、自然再生計画、かわまちづくり、防災学習、設計等、河川・ダム・道路・公園事業等の社会資本整備を支援しています。地域の方々と意見交換等を行いながら、自然環境、景観、歴史等の地域の個性にあった良好な空間形成に取り組んでいます。



▲学識者等との現地視察



▲かわまちづくりの社会実験(親水活動)

大阪支社

フィールドデータに基づく、環境と共生する地域づくりを支援します。

近畿・中国・四国地方を対象に、インフラ整備に係る環境調査を行い、環境の現況や事業影響を評価しています。また、自然や歴史文化資源を活かした地域活性化を支援しています。

活躍フィールドは大都市から自然豊かな地域まで。様々な専門分野のメンバーが連携しながら、自然環境と共生する地域づくりに取り組んでいます。



▲河川・ダムにおける環境調査(魚類調査)



▲史跡を活用した社会実験
(龍田古道・亀の瀬 旧大阪鉄道亀瀬隧道)

新潟支店

北陸の安心安全の確保、美しい山河の保全を支援します。



▲厳冬の道



▲盛夏の山河

札幌支店

北海道の大自然(環境)を守っています。



▲ニジマス(たも網にて採捕)



▲オオワシ

ホンネ×リアル

\\ 入社2年目! //

ケンカン若手社員対談



ケンカン若手社員対談の動画はこちらからご覧いただけます。



- ◀ 入社2年目の私たちがどんな仕事をしているか
- ◀ 社内の雰囲気やコミュニケーション

求める人物像
Desired person image

私たちは、好奇心、向上心、チャレンジ精神があり、
人の役に立つ仕事に喜びを感じる人を求めています。



◀詳しい内容はこちら
(キャリアアップ支援、技術力向上の取組み)

01

資格取得

技術者の資格取得を支援

社員のキャリアアップと、会社の評価を高めるため、社員の資格取得を積極的に支援しています。技術者にとって重要な技術士資格については、合格実績のある先輩社員が講師となり、勉強会を実施しています。

※会社として取得を奨励する下記の資格には資格手当を支給しています。

《資格名》

- | | |
|--------------|----------------|
| ●技術士 | ●情報処理技術者 |
| ●博士 | ●情報処理安全確保支援士 |
| ●一級建築士 | ●データベーススペシャリスト |
| ●環境計量士 | ●プロジェクトマネージャー |
| ●土木学会認定技術者 | ●ITストラテジスト |
| ●樹木医 | ●地質調査技士 |
| ●生物分類技能 | ●測量士 |
| ●ビオトープ管理士 | ●港湾海洋調査士 |
| ●RCCM | ●環境アセスメント士 |
| ●1級土木施工管理技士 | ●TOP（交通技術資格者） |
| ●1級造園施工管理技士 | ●気象予報士 |
| ●土壤汚染調査技術管理者 | ●公害防止管理者 |
| ●河川維持管理技術者 | ●環境カウンセラー |
| ●河川点検士 | ●建築物石綿含有建材調査者 |
| ●コンクリート診断士 | ●石綿分析認定技術者 |
| ●鋼構造診断士 | |

02

学会活動

最新研究、技術を学ぶため、各分野の学会や団体に参加

会社として参加するだけでなく、社員の学会活動も支援しています。

《会社の主な所属学会・団体》

- | | |
|----------------|----------------------|
| ●日本生態学会 | ●日本環境アセスメント協会 |
| ●日本リモートセンシング学会 | ●自然環境共生技術協会 |
| ●応用生態工学会 | ●都市計画コンサルタント協会 |
| ●環境DNA学会 | ●ランドスケープコンサルタンツ協会 |
| ●日本水産学会 | ●日本公園緑地協会 |
| ●日本環境動物昆虫学会 | ●日本環境測定分析協会 |
| ●日本鳥学会 | ●日本風力発電協会 |
| ●日本緑化工学会 | ●日本地熱協会 |
| ●土木学会 | ●河川生態学術研究会 |
| ●砂防学会 | ●山階鳥類研究所 |
| ●ダム工学会 | ●日本ダム会議 |
| ●水文・水資源学会 | ●交通工学研究会 |
| ●日本水環境学会 | ●日本モビリティ・マネジメント会議 |
| ●日本陸水学会 | ●日本風景街道コミュニティ |
| ●大気環境学会 | ●日本UAS産業振興協議会（JUIDA） |
| ●日本音響学会 | ●日本道路協会 |
| ●日本騒音制御工学会 | ●ESG情報開示研究会 |
| ●建設コンサルタンツ協会 | |

03

研究開発

先進的な技術を産学連携や社内独自で開発

毎年、社内から新技術の開発テーマを募集し、研究成果を事業開発成果発表会で発表しています。2024年度は土砂管理に関する技術開発、DNAデータを用いた広域ポテンシャルマップ、衛星画像を用いた河川植生分類図、ドローンを用いた採水システムの開発、生物キャラクターのARアプリの開発などのテーマについて発表がありました。

また、外部から各分野の専門家を講師として招き、社内講習会を定期的に開催しています。



▲事業開発成果発表会の様子



▲生物キャラクターのARアプリの開発

04

研修制度

人材育成の研修プログラム

技術者として必要なスキルを身につけるために、新入社員から管理職までの各階層で研修制度を設けています。各階層でステップアップを目的とした研修を実施すると共に、全社員を対象にした技術研修、基礎研修を実施して、社員のニーズに合わせた人材育成を行っています。



管理職（部長クラス）

- マネジメント研修

管理職（グループ長クラス）

- マネジメント研修

若手～中堅社員

- キャリアアップ研修

新入社員

- 新入社員研修
- 2・3年目フォロー研修



▲新入社員研修

現地見学会▶



▶ドローン実施研修



▲災害調査の実習



▼2年目フォロー研修



◀現地見学会



▲3・4年目社員の
現場見学会



◀1年目、2年目社員
研修打ち上げ



▼管理職研修



▼管理職研修

技術研修 専門技術、現場技術、資格取得等

基礎研修 情報セキュリティ、コンプライアンス等



01

在宅勤務制度

社員のニーズに合わせた柔軟な働き方・休み方

●在宅勤務

ライフステージが変化しても安心して仕事ができるよう、在宅勤務制度（テレワーク）を導入しています。

●毎週水曜日ノー残業デー

当社は、毎週水曜日をノー残業デーとし、定時退社を推進しています。



▲ 退社時間表明カード

●時間単位の年次有給休暇

通院、学校行事、介護などのさまざまな事情に応じて、年次有給休暇を1時間単位で取得することができます。（年間40時間（5日分）まで）

●休暇取得推奨日

休暇を計画的・効率的に取得するために、ゴールデンウィーク、シルバーウィーク期間等の平日を休暇推奨日としています。（年間20日程度設定）

●リフレッシュ休暇

勤続20年及び30年を超えた社員に対し、10日間のリフレッシュ休暇（特別休暇）が付与されます。



▲ リフレッシュ休暇

02

ライフイベント支援

「子育てサポート企業」として国から高い評価

厚生労働省から認定を受け、2015年に「くるみんマーク」、2017年に「プラチナくるみんマーク」を取得しました。当社の子育て支援制度は、

●「育児短時間勤務制度」を法律で定める期間より延長（小学校2年生終了時まで※）

●「子供の看護休暇制度」を法律で定めるに日数より拡充（年間7日間、子二人以上の場合は年間14日間、1時間単位で取得可能※）

その他、妊娠中から利用できる「残業・深夜業制限制度」「時差通勤制度」「在宅勤務制度」「時間単位の年次有給休暇制度」等、充実しています。

※国が定める基準を上回っている制度
男性もこれらの制度がつかえます！



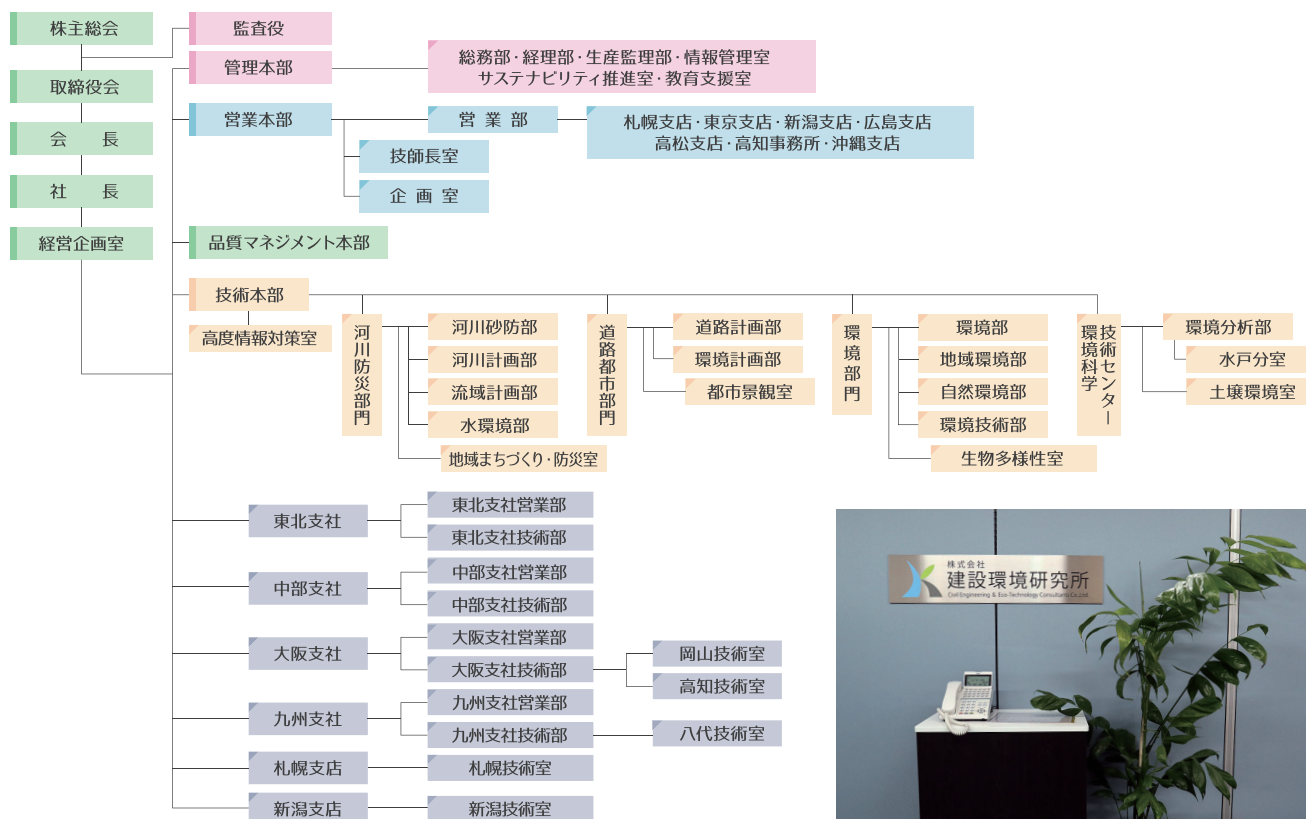
▶ ライフイベント支援の詳しい内容はこちら



▲ 子育て支援制度を活用している社員

組織図

Company organization chart



採用情報

Recruitment information

message



総務部長
相生 充隆

Messageはこちら▶



雇用形態	正社員
主な職務内容	技術系（環境、防災、河川、ダム、砂防、道路、地域計画、まちづくり、造園）、営業（官公庁、民間）
給与	高専本科卒：211,400円、高専専攻科・大学卒：221,400円、大学院卒：231,400円
諸手当	資格手当、若手支援手当、入社支度金10万円、割増手当（時間外・休日・深夜） 通勤定期代、単身赴任手当
昇給	年1回
賞与	年2回（7月、12月） ※業績に応じ支給 2024年度実績約3ヵ月分
勤務地	東京、札幌、仙台、新潟、大宮、名古屋、大阪、福岡
勤務時間	9:00～17:30（実働7時間30分）
休日・休暇	完全週休2日制（土・日）、祝日、年末年始、春季夏季休暇（7日）、リフレッシュ休暇、 慶弔休暇、生理休暇、産前産後休暇、育児/介護休業・時短勤務、子の看護休暇、 時間単位の年次有給休暇 他 ※年間休日125日以上
保険	健康保険、厚生年金保険、企業年金基金、雇用保険、労災保険
福利厚生	退職金制度（確定拠出年金制度、特定退職金共済制度）、表彰制度、資格取得支援制度
応募資格	高専、大学、大学院卒業見込みの方（2026年3月卒） または大学、大学院卒業の方（2023年3月～2025年3月卒）
応募方法	2025年3月以降、マイナビよりスレントリーをお願いいたします。書類選考後、ご連絡いたします。

採用情報の詳しい内容はこちら ▶

